

やりがいがあること	91.7
部員が喜んでくれること	91.5
その競技が好きだということ	90.2
部員の技術的向上が感じられること	89.9
部員の人間的成長が感じられること	89.9
部員と一緒に活動できること	89.5
自分自身が楽しいこと	89.4
自分自身と顧問が良い関係を保てること	88.9
学校の外部指導者受け入れ体制があること	88.7
部員に正しい知識を伝えられること	88.4
部員や自身のケガに対する保険制度があること	88.2
部活動を指導する時間的余裕があること	87.6
試合に勝つ喜びを感じる	87.3
部員に関わることで自分が学べる	87.1
競技の魅力が伝えられること	87.1
学校側が指導成果について長い目で見てくれること	86.9
部員の意欲が高いこと	86.9
指導したいと思うこと	86.8
外部指導者をしてほしいという依頼があること	86.3
社会に貢献できること	83.3
競技の普及につながる	82.8
外部指導者募集に関する情報があること	82.3
部活動で指導者が不足していること	81.9
自分自身の人生経験を伝えられること	81.5
外部指導者としての取り決めや契約があること	81.2
外部指導者向けの講習会があること	80.9
自分自身の競技経験を伝えられること	80.1
自分自身と部活動をつないでくれる仲介者がいること	78.6
部員にとって無知は損だと思ふこと	77.9
指導に自信があること	77.1
部活動との相性を試せる試用期間があること	76.8
部活動に関わりたときに、頼れる人脈があること	76.8
生活が規則的になること	76.7
保険などのシステムが教員と同じように整備されていること	76.2
自分自身の指導技術が向上すること	75.7
指導に関する実費が支払われること	74.3
自分自身の運動不足の解消になること	74.3
外部指導者の立場であれば教員にはできない指導ができること	73.6
競技への恩返しになること	72.4
人脈が得られること	67.9
謝礼金があること	56.7
名誉欲を満たせること	44.9

